

Zoom Up

人

目指すは2冠
またとない地元開催のインカレ
優勝以外は考えていません



畠山 長太 さん

●はたけやま・ちようた 安代中学校から盛岡中央高校に進み、現在は早稲田大学3年生。ノルディックスキー複合競技の選手として数々の全国大会で優勝し、日本代表(ジュニア)としてワールドカップBにも参戦。「ノリが良い性格」と自己分析する。今年成人式を迎えたばかりの20歳。血液型O型のさそり座。安代地区曲田出身。



オ

リンピックでの金メダル。スポーツ選手なら誰でも1度はあこがれるであろう、世界で1番の選手の証し。その金メダルを目指し、青春の全てを懸ける青年がいる。弱冠20歳のノルディックスキー複合選手、畠山長太さんだ。

3歳からスキーを始め、3歳上のお姉さんの影響で小学校のスポーツ少年団ではクロスカントリ取り組んだ。中学校に入ると、ジャンプの魅力にひかれ、ノルディックスキー複合の世界に飛び込んだ。「好きなのはジャンプですが、得意なのはクロスカントリなんですよ」という言葉のおとりに、クロスカントリで抜群の走力を見せ、めきめき成績を上げていった。中学校3年生のときに全国中学校スキー大会優勝、高校2年生のときに全国高等学校ス

キー大会優勝など全国にその名をとどろかすようになっていった。同時に、このころから念願のジュニア日本代表に選ばれ、ワールドカップBという世界を舞台にした大会にも出場できるようになった。

成人式を終えたばかりの長太さんに、大学生として3年目のシーズンとなる今季の抱負を尋ねると、「地元で開催される全日本学生スキー選手権大会(インカレ)での優勝です。スペシャルジャンプと複合の2種目制覇を狙います」と頼もしい一言。21年1月に市内で開催されるインカレに懸ける思いの強さを感じた。さらに「中国で開催されるユニバーシアード冬季大会での表彰台も目指します」と国際的な大学生のスポーツの祭典での上位入賞も狙っている。「将来は岩手に戻り、高校の教員になってスキーを教えた」という。「同じ複合競技の先輩の永井陽一さんが中学校の教員になっていたので、連携して、岩手のスキーをもっと強くしていきたい」と語るその瞳は、スキーへの情熱であふれている。選手として、そして未来の指導者として、これからどんな飛躍を見せてくれるのか楽しみだ。